

## 臨時休校期間の児童生徒の学びを高める取組例

### 《食育編》

#### 【小学校低・中学年】

<テーマ> 食事のお手伝いをしよう
<目的> 家族への日ごろ感謝の気持ちを込めて、毎日食べる食事の準備を進んでする。
<具体的内容> ①自分ができるお手伝いを決め「がんばりカード」などを活用しながら毎日お手伝いに取り組む。 ②臨時休校期間の終わりには、児童は家族へメッセージを記入し、家族からも児童へのメッセージを記入する。

#### 【小学校高学年】

<テーマ> 朝食づくりにチャレンジしよう
<目的> 家族と一緒に朝食づくりに挑戦しながら、調理の技術を身に付けるとともに、自らの食生活に関心を持つ。
<具体的内容> ①家族は、毎日の朝食づくりについてどのように考え、何に気を付けながら朝食を作っているのか聞き取り、栄養のバランスを考えた朝食のメニューを家族に提案する。 ②調理を行う器具の使い方や調理技術を身に付けるため、家族と一緒に朝食に挑戦する。 ③少しずつ調理技術のレベルアップを目指せるよう目標をもって取り組む。 ④臨時休校期間の終わりには、児童は家族へメッセージを記入し、家族からも児童へのメッセージを記入する。  ※今年度も「夏休みチャレンジ自分で作ろう米飯朝ごはん」の作品募集（対象者：小学校及び義務教育学校、特別支援学校の5、6年生）があるため、これに向けて取り組んでみる。

#### 【中学校】

<テーマ> 昼食づくりにチャレンジし、みんなに紹介しよう
<目的> 栄養のバランスのとれた昼食づくりに挑戦することを通して、調理の技術を身に付けるとともに、自らの食生活に関心を持つ。
<具体的内容> ①簡単に、栄養のバランスが整った朝食のメニューを考えて調理する。 （調理経験が少ない生徒は、家族と一緒に作ることから始めて、安全な調理を行うこと。） ②レシピ（料理名、材料と分量、作り方）を作成して、写真をワークシートに貼り付ける。 ③家族に感想を記入してもらう。 ④臨時休校明けに友だちに紹介して、感想やメッセージを交換する。

<テーマ>

季節を感じる食事を準備しよう

<目的>

季節を感じる食事を準備して、家族と共に食卓を囲む。

<具体内容>

- ①旬の食材を調べてそれらを使い、家族の好みにあった一食分の食事を考える。
- ②生徒のアイデアを大切に家族とともに準備したり、生徒だけで準備して家族とともに食べたり工夫する。
- ③準備する様子や一食分の食事、食べる様子などを写真や動画で記録し、取り組んだ感想や食事の感想などをまとめて友だちに紹介する。